

予算等事業名	環境保全推進事業（合併処理浄化槽設置整備補助）				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●			●	●	●	
事業対象	町民	目的	合併処理浄化槽の設置補助を行い、公共用水域の水質保全や生活環境の向上を図る。				
事業概要	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、合併処理浄化槽の設置整備に関する補助を行うことにより、生活環境の向上を図る。						

事業予算									
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	環境保全推進事業		
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	733	845		1,485		2,627		
	概算人件費	677	1,323		1,332		1,332		
トータルコスト		1,410	2,168		2,817		3,959	0	
国庫/県支出金		481	556		834		872	0	
その他		0	0		0		0	0	
R 7 概算人件費		正規職員	0.29 人			1,332 千円			
		再任用職員	人			千円			
		会計年度任用職員	人			千円			
		その他	人			千円			
		合計			1,332 千円				

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	測定地点数に対する測定値が環境基準値内の地点数割合（％）	計画値	92	100	100	100	100	100
		実績値		92	100	100		
②		計画値						
		実績値						

	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果 (実績)	・補助制度について町広報紙で周知したり、公共下水道の整備予定がない区域において啓発チラシを回覧した。 ・単独処理浄化槽を廃止して合併処理浄化槽を設置する転換の申請が1件が提出され、補助金交付を行った。
	課題	・平成30年度に制度化して以降、現在に至るまで転換実績が少ない。 ・公共用水域の水質保全を維持するために、転換を促進する効果的な啓発が必要。
今年度	成果 (実績)	・補助制度について町広報紙で周知したり、公共下水道の整備予定がない区域において啓発チラシを回覧した。 ・単独処理浄化槽を廃止して合併処理浄化槽を設置する転換の申請が2件が提出され、補助金交付を行った。
	課題	・平成30年度に制度化して以降、現在に至るまで転換実績が少ない。 ・公共用水域の水質保全を維持するために、転換を促進する効果的な啓発が必要。

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	美化推進事業（530キャンペーンの実施等）				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	海岸清掃を実施することにより海岸をきれいにするとともに、海岸美化・海岸保全に対する意識向上を図る。				
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	美化推進事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	1,432	1,467		1,589		1,789	
	概算人件費	683	957		957		957	
トータルコスト		2,115	2,424		2,546		2,746	0
国庫/県支出金		945	996		925		937	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.20 人			957 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			957 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	美化財団海岸ごみ回収量（t）	計画値	29	29	29	29	29	29
		実績値		16	39	10		
②	海岸530キャンペーン参加者数（茶屋海岸を含む）（人）	計画値	489	489	489	489	489	489
		実績値		407	464	0		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・かながわ海岸美化財団により、二宮海岸約3km、幅55mを対象に、年53回の団体清掃（生きがい事業団）と年15回の機械清掃が実施され、約39tの海岸漂着ごみが回収された。 ・湘南にのみや530キャンペーンを開催し、464名の方にご参加いただき、103kgの海岸ごみを回収した。
	課題	・台風や大雨など天候により、年度によって、ごみ量が大きく変化する。 ・海岸ごみの約7割は河川から流れ着いていると言われているため、ポイ捨てなどを未然に防止する取組が必要。
今年度	成果（実績）	・かながわ海岸美化財団により、二宮海岸約3km、幅55mを対象に、年55回の団体清掃（生きがい事業団）と年12回の機械清掃が実施され、約16tの海岸漂着ごみが回収された。 ・令和7年度は湘南にのみや530キャンペーンが荒天のため中止となった。
	課題	・台風や大雨など天候により、年度によって、ごみ量が大きく変化する。 ・海岸ごみの約7割は河川から流れ着いていると言われているため、ポイ捨てなどを未然に防止する取組が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」			
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性 現状維持
2次評価（庁内）	意見		
	総合評価	適当	方向性 現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	動物の保護管理事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●	●	●	●		
事業対象	町民	目的	畜犬の適正管理、鳥獣被害の防止等により、人と自然が共生するまちづくりをめざす。				
事業概要	「狂犬病予防法」に基づく犬の登録及び狂犬病予防に関する事務を行うとともに、生活被害並びに農業被害の防止を図るため、有害鳥獣対策に関する事務を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	動物の保護管理事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	530	772	795	1,306		
	概算人件費	1,956	2,222	3,209	3,209		
	トータルコスト	2,486	2,994	4,004	4,515	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	R 7 概算人件費	正規職員	0.48 人		2,222 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	4.33 人		987 千円		
		その他	人		千円		
		合計			3,209 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	有害鳥獣による生活被害件数（件）	計画値	31	28	25	22	19	16
		実績値		20	80	30		
②	狂犬病予防注射の接種率（%）	計画値	95	100	100	100	100	100
		実績値		88	89	78		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・4月に狂犬病予防集合注射を実施したり、11月に狂犬病予防注射未接種の飼養者に対し督促ハガキを送付するなどして接種率向上に努めた。 ・イノシシ被害を防止するため、土地の適正管理や遭遇対策について、広報紙等で周知を行った。
	課題	・イノシシやサルの市街地出没が頻発し、目撃情報や物的な被害情報が多く寄せられているため、有害鳥獣を地域への出没を防ぐような施策が必要である。
今年度	成果（実績）	・4月に狂犬病予防集合注射を実施したり、11月に狂犬病予防注射未接種の飼養者に対し督促ハガキを送付するなどして接種率向上に努めた。 ・イノシシ被害を防止するため、土地の適正管理や遭遇対策について、広報紙等で周知を行った。
	課題	・有害鳥獣被害については、捕獲の現状を分析し効率的かつ効果的な対応策の検討が必要。 ・近年、山林に面した地域において、イノシシに関する目撃情報が多く寄せられていることから、人身被害などに及ぶ恐れも出てきている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	公害防止対策事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●		●	●		
事業対象	町民	目的	公害を未然防止、拡大防止することにより、町民が安心して暮らせる町づくりを推進する。				
事業概要	苦情・相談に迅速、適切に対応し環境保全を図るとともに、各種環境測定等の測定を実施し、町の環境を把握し公害を未然に防止を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	公害防止対策事業
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額	R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	866		227		223	224
	概算人件費	890		1,543		1,543	1,543
	トータルコスト	1,756		1,770		1,766	1,767
	0			0		0	0
	0			0		0	0
R 7 概算人件費	正規職員	0.33 人		1,543 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,543 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	騒音測定地点数に対する測定値が基準値内の地点数割合（％）	計画値	100	100	－	－	－	－
		実績値		75	－	－		
②	苦情件数に対する焼却行為の中止件数割合（％）	計画値	100	100	100	100	100	100
		実績値		100	100	100		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく			
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い			
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく			
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析		
前年度	成果（実績）	・道路騒音測定については、測定結果が要請限度値を超えていないこと、測定箇所沿線において住民などから苦情が寄せられていないこと、県内の近隣町の測定状況を確認したところ、近隣町では同様の測定が行われていないことなどから、継続的に測定を行う必要性はないものと判断したため、令和5年度をもって測定を中止することとした。 ・野焼きに関する相談を16件受け、うち6件について現場指導を行い、2件を中止してもらった。
	課題	・近年の山火事などの火災被害が他市町村でも多く発生しているため、野焼きの啓発や周知などを継続して行う。
今年度	成果（実績）	・道路騒音測定については、測定結果が要請限度値を超えていないこと、測定箇所沿線において住民などから苦情が寄せられていないこと、県内の近隣町の測定状況を確認したところ、近隣町では同様の測定が行われていないことなどから、継続的に測定を行う必要性はないものと判断したため、令和5年度をもって測定を中止することとした。 ・野焼きに関する相談を10件受け、うち4件について現場指導を行い、3件を中止してもらった。
	課題	・近年の山火事などの火災被害が他市町村でも多く発生しているため、野焼きの啓発や周知などを継続して行う。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

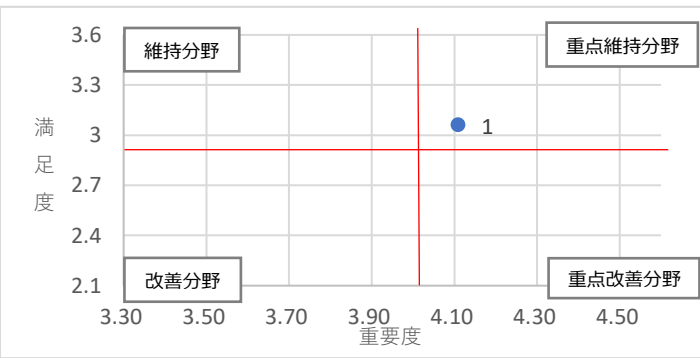
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	環境保全推進事業（環境学習、地球温暖化防止運動の推進等）				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●		●	●	●	
事業対象	町民	目的	国民運動であるクールチョイス(2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で23%削減するという目標)を推進することで、地球温暖化防止に資する。				
事業概要	地球温暖化対策実行計画を推進するとともに、町民理解のための基盤づくりを優先的に行うための普及啓発活動を実施し、町民の地球温暖化に関する機運醸成を図る。また、町民団体や民間事業者が実施する再生可能エネルギー導入促進を支援する。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	環境保全推進事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	154	339		5,635		11,263	
	概算人件費	5,612	4,261		577		577	
トータルコスト		5,766	4,600		6,212		11,840	0
国庫/県支出金		0	0		5,573		11,096	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	1.56 人			577 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			577 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	啓発イベントの実施数	計画値	4	3	2	2	2	2
		実績値		3	3	3		
②	「地球温暖化・気候変動」の認知度【戦略】（%）	計画値	89.9	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0
		実績値		74.4	86.6	86.1		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・5月の「エコフェスタにのみや」並びに11月の「ふるさとまつり」において、環境PRブースを設置し、普及啓発活動を実施した他、8月に県の支援事業（子ども環境教室）を活用し、「体験型未来づくり教室」を実施した。 ・町民・事業者・行政で構成した「にのみや気候市民会議」を開催し、市民提案書をまとめたとともに、「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定、「ゼロカーボンシティ」の表明を行った。
	課題	・引き続き、町民の行動を実践に繋げるための啓発の工夫を行うとともに、費用対効果を意識した事業の効率化を検討する必要がある。 ・地球温暖化対策については、市民提案書等の意見も参考にしながら、計画に基づき具体的な取り組みを検討する。
今年度	成果（実績）	・5月の「エコフェスタにのみや」並びに11月の「ふるさとまつり」において、環境PRブースを設置し、普及啓発活動を実施した。 ・非常事態宣言（令和5年度）、にのみや気候市民会議（令和6年度）までの流れを踏まえ、こども版気候市民会議を開催した。小中学生17名とともに、町の現状や未来の町にできる地球温暖化対策のアイデアについてまとめ、リーフレットや動画を作成し、町内小中学生を中心に幅広い方に情報発信を行った。 ・国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、LED照明器具買替補助金により支援を行った。
	課題	・引き続き、町民の行動を実践に繋げるための啓発の工夫を行うとともに、費用対効果を意識した事業の効率化を検討する必要がある。 ・地球温暖化対策については、市民提案書やこども版気候市民会議からでたアイデアを基に一部事業を実施できたため、引き続き、地球温暖化対策実行計画に基づき具体的な取り組みを検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

予算等事業名	美化推進事業（カラスネット配布）				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民		目的	カラスネットを配布し、ごみの散乱被害を防止することにより、住み心地の良い生活環境を確保する。			
事業概要	各地域のごみ集積所をカラス等によるごみの飛散被害を防止するため、カラスネットを設置し地域の美観を保全する。						

事業予算									
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	美化推進事業		
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	932		879		1,176		1,301	
	概算人件費	635		600		965		965	
トータルコスト		1,567		1,479		2,141		2,266	0
国庫/県支出金		0		0		0		0	0
その他		0		0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員		0.13 人			600 千円		
		再任用職員		人			千円		
		会計年度任用職員		0.13 人			365 千円		
		その他		人			千円		
		合計					965 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	カラスネット配布箇所に対するカラス被害防除割合（％）	計画値	80	90	90	90	90	90
		実績値		89	90	90		
②		計画値						
		実績値						

	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果 (実績)	・カラスネットの無料配布について、町広報紙などで広く周知するとともに、カラスネット配布希望者に対し、青色の平型ネットを122枚、黄色のファスナー付きネットを234枚配布した。
	課題	・現在配布しているカラスネットでは、被害を低減できても無くすことはできない。 ・令和2年度に導入したファスナー付ネットは破損しやすいとの声があるので、アンケートを実施し検証する。
今年度	成果 (実績)	・カラスネットの無料配布について、町広報紙などで広く周知するとともに、カラスネット配布希望者に対し、青色の平型ネットを134枚、黄色のファスナー付きネットを247枚配布した。
	課題	・現在配布しているカラスネットでは、被害を低減できても無くすことはできない。 ・令和2年度に導入したファスナー付ネットは破損しやすいとの声があるので、アンケートを実施し検証する。

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	不法投棄防止事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民		目的	町内全域の山道及び街区における不法投棄物の撤去及び不法投棄の防止を図る。			
事業概要	町内全域の山道及び街区における不法投棄物の撤去及び不法投棄の防止を図る。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	不法投棄防止事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	745	734		45		84	
	概算人件費	1,804	1,754		2,330		2,330	
トータルコスト		2,549	2,488		2,375		2,414	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.38 人			1,543 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	2.00 人			787 千円		
		その他	人			千円		
		合計			2,330 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	不法投棄パトロール実施回数（回）	計画値	54	54	54	54	54	54
		実績値		54	54	52		
②	ごみのポイ捨てを防止するための啓発回数（回）	計画値	3	3	3	3	3	3
		実績値		5	6	9		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析		
前年度	成果（実績）	・会計年度任用職員による環境保全パトロールを年50回、県との合同パトロールを年4回実施しているが、不法投棄量について増加傾向が見られていないことから、パトロールが抑止力の一因となっているものと考えられる。 ・広報紙にて計3回、環境講座出前事業において、年2回ポイ捨て禁止に関することも啓発し、7月に駅前にて街頭美化キャンペーンを実施した。
	課題	・近年、山林投棄など大規模な不法投棄は発生していないものの、過去の不法投棄物やごみ置場への不適正排出、不法投棄などは以前として多く見受けられているため、パトロール及び啓発看板の設置等を強化する必要がある。
今年度	成果（実績）	・会計年度任用職員による環境保全パトロールを年48回、県との合同パトロールを年4回実施しているが、不法投棄量について増加傾向が見られていないことから、パトロールが抑止力の一因となっているものと考えられる。 ・広報紙にて1回、環境講座出前事業において、年7回ポイ捨て禁止に関することも啓発し、7月に駅前にて街頭美化キャンペーンを実施した。
	課題	・近年、山林投棄など大規模な不法投棄は発生していないものの、過去の不法投棄物やごみ置場への不適正排出、不法投棄などは以前として多く見受けられているため、パトロール及び啓発看板の設置等を強化する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	ごみ減量化・再利用事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●	●	●	●	●	
事業対象	町民		目的	二宮町一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化・資源化を図る。			
事業概要	ごみの減量化・再利用化を推進し、啓発事業を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	ごみ減量化・再利用事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	8,415	8,754		7,729		9,873	
	概算人件費	2,044	1,910		2,242		2,242	
トータルコスト		10,459	10,664		9,971		12,115	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.52 人			2,129 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	0.04 人			113 千円		
		その他	人			千円		
		合計			2,242 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	1人1日当たりのごみ排出量 （g/人・日）	計画値	790	807	803	798	798	—
		実績値		768	748	715		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・一般廃棄物処理基本計画に基づく「家庭系ごみ排出抑制」の一環として、10月の「食品ロス削減月間」に合わせた町広報紙への特集記事掲載を実施した他、減量化等計画書をもとに多量排出事業者11社への指導・ヒアリングを実施した。
	課題	・デジタル化の進展等の影響により、全資源化量の半数以上を占める「古紙類（新聞・雑誌）」の需要が近年大幅に減少していることを受け、「資源化の目標」の達成が依然として困難な状況にあることに加え、新たな資源化品目を処理費用をかけずに追加して直接的に資源化率の増大を目指すことも困難である。
今年度	成果（実績）	・一般廃棄物処理基本計画に基づく「家庭系ごみ排出抑制」の一環として、10月の「3R推進月間」に合わせた町広報紙への特集記事掲載を実施した他、減量化等計画書をもとに多量排出事業者12社への指導・ヒアリングを実施した。 ・令和7年7月よりリチウム蓄電池の回収を開始し、ごみの適正処理や二次電池の資源化につながった。
	課題	・近年の情勢を踏まえると、資源化率の増大を図ることは困難ではあるが、引き続き、資源化を啓発するとともに、新たな資源化品目についても検討を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	一般廃棄物処理事務事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民	目的	一般廃棄物処理に必要な事務を行い、町内から排出される一般廃棄物を適正処理する。				
事業概要	一般廃棄物処理に関連した事務を行う。						

事業予算						
会計	01	款項目	04	02	02	大事業 一般廃棄物処理事務事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	1,052	1,053	1,077	916	
	概算人件費	1,280	1,849	3,121	3,121	
	トータルコスト	2,332	2,902	4,198	4,037	0
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R 7 概算人件費	正規職員	0.71 人		2,896 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.08 人		225 千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,121 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・ごみカレンダーを作成し全戸配布を行ったり、収集できませんステッカーを作成し収集時に未分別のごみに貼付したりするなどして、町内から排出される一般廃棄物の適正処理に努めた。
	課題	・安定した資源ごみの処理を図るため、複数の処理先確保の検討が必要。 ・近年、ごみの減量化が図られており、ごみの排出量が計画上の目標値を達成しているが、ごみの資源化については、計画上の目標値を達成できていない。
今年度	成果（実績）	・ごみカレンダーを作成し全戸配布を行ったり、収集できませんステッカーを作成し収集時に未分別のごみに貼付したりするなどして、町内から排出される一般廃棄物の適正処理に努めた。
	課題	・安定した資源ごみの処理を図るため、複数の処理先確保の検討が必要。 ・近年、ごみの減量化が図られており、ごみの排出量が計画上の目標値を達成しているが、ごみの資源化については、計画上の目標値を達成できていない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」			
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性 現状維持
2次評価（庁内）	意見		
	総合評価	適当	方向性 現状維持

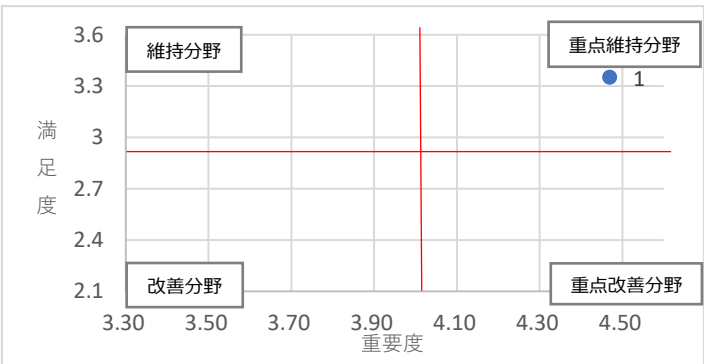
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	じん芥収集事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	町民	目的	家庭及び事業所から排出される一般廃棄物を適正かつ迅速に収集運搬することで、町民の安心と信頼を確保する。				
事業概要	各家庭及び事業所等から排出されるじん芥の収集を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	じん芥収集事業
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額	R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	180,026		181,530		187,961	187,965
	概算人件費	1,292		2,628		4,830	4,830
	トータルコスト	181,318		184,158		192,791	192,795
	国庫/県支出金	0		0		0	0
	その他	0		0		0	0
R 7 概算人件費	正規職員	0.54 人		2,277 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	2 人		2,553 千円			
	その他	人		千円			
	合計			4,830 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	収集予定日数に対する収集実行日数割合（％）	計画値	100	100	100	100	100	100
		実績値		100	100	100		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・町内事業者に委託し事業を実施しており、トラブルなく今日まで継続している。 ・今後も安定したじん芥処理の維持を図る。
	課題	・高齢者等ごみ出し支援事業を安定的かつ継続的に運営していくため、じん芥収集運搬委託の委託内容に組み込んでいく必要がある。 ・委託業者より、雇用者確保のため、土曜日の収集をなくすことができないか相談を受けている。
今年度	成果（実績）	・町内事業者に委託し事業を実施しており、トラブルなく今日まで継続している。 ・今後も安定したじん芥処理の維持を図る。
	課題	・高齢者等ごみ出し支援事業を安定的かつ継続的に運営していくため、じん芥収集運搬委託の委託内容に組み込んでいく必要がある。 ・委託業者より、雇用者確保のため、土曜日の収集をなくすことができないか相談を受けている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	ごみ処理広域化推進事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●			●		
事業対象	町民	目的	平塚市・大磯町との広域処理を実施することで、安定かつ安全なごみ処理を推進する。				
事業概要	平塚市及び大磯町とのごみ処理広域化推進のため、広域利用施設等に係る負担をする。						

事業予算						
会計	01	款項目	04	02	02	大事業
		ごみ処理広域化推進事業				
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	112,182	129,368	147,369	146,694	
	概算人件費	692	1,160	580	580	
	トータルコスト	112,874	130,528	147,949	147,274	0
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R 7 概算人件費	正規職員	0.15 人		580 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			580 千円		

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・第二期平塚大磯二宮ブロックごみ処理広域化実施計画に基づき他市町と連携しながら事業を進めることができた。
	課題	・新たに製品プラスチックの処理資源化の継続した検討の必要がある。 ・平塚市破碎処理場等の施設及び設備の老朽化などの問題等を広域内で検討する必要がある。 ・第二期平塚大磯二宮ブロックごみ処理広域化実施計画の中間改定を行う。
今年度	成果（実績）	・第二期平塚大磯二宮ブロックごみ処理広域化実施計画に基づき他市町と連携しながら事業を進めることができた。
	課題	・新たに製品プラスチックの処理資源化の継続した検討の必要がある。 ・平塚市破碎処理場等の施設及び設備の老朽化などの問題等を広域内で検討する必要がある。 ・大磯町のし尿処理施設の老朽化に伴う改修工事の内容について広域内で検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	ウッドチップセンター運営事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	平塚市・大磯町・二宮町	目的	家庭や公園などから排出される剪定枝を焼却処理せず、チップ化することで、資源として発電燃料や堆肥原料にリサイクルする。				
事業概要	ごみ処理広域化に伴い、ウッドチップセンターの運営を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	ウッドチップセンター運営事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	60,485	60,065		59,559		60,870	
	概算人件費	1,345	607		878		878	
トータルコスト		61,830	60,672		60,437		61,748	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.21 人			878 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			878 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	資源化の目標（%以上）	計画値	33.5	36.5	37.7	39.0	39.0	39.0
		実績値		32.5	28.5	30.0		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・DBO方式による委託のため、職員への負担が軽減している。 ・施設を広域で運転することにより、安定的かつスケールメリットを活かした事業運営ができています。 ・町職員不在のため、日々の巡回等を行い、運営管理（外部搬出含む）を進め管理ができています。
	課題	・町職員不在のため、日々の巡回や運営管理（外部搬出含む）を確認しながら進める必要がある。 ・剪定枝の搬入量が減少しているため、搬入量を増やす方法を継続して検討する必要があります。
今年度	成果（実績）	・DBO方式による委託のため、職員への負担が軽減している。 ・施設を広域で運転することにより、安定的かつスケールメリットを活かした事業運営ができています。 ・町職員不在のため、日々の巡回等を行い、運営管理（外部搬出含む）を進め管理ができています。 ・建物の外観（壁・スロープ・接続部分のサビなど）も月1回職員が巡回を実施して管理ができています。
	課題	・町職員不在のため、日々の巡回や運営管理（外部搬出含む）を確認しながら進める必要がある。 ・剪定枝の搬入量が減少しているため、搬入量を増やす方法を継続して検討する必要があります。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」					※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」				
1次評価(所管課)		総合評価		適当		方向性		現状維持	
2次評価（庁内）		意見							
		総合評価		適当		方向性		現状維持	

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	環境衛生センター維持管理経費				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民		目的	収集ごみや環境衛生センターへのごみの持込みなどの対応を行う。			
事業概要	環境衛生センターの運営及び維持管理を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	03	01	大事業	環境衛生センター維持管理経費	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	16,810	18,075		17,560		19,695	
	概算人件費	2,055	1,402		1,185		1,185	
トータルコスト		18,865	19,477		18,745		20,880	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.29 人			1,185 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,185 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	-	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができています。
	課題	・不要かつ老朽化した設備の管理方法や処分が直近の課題となっている。 ・作業用深ダンプ2台の老朽化により修繕等の経費が増えている。また、車両がマニュアル車のため、運転出来るもの少なくなっているため、車両の検討が必要である。
今年度	成果（実績）	・一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができています。
	課題	・不要かつ老朽化した設備の管理方法や処分が直近の課題となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」				
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	じん芥受入分別事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民	目的	環境衛生センターに収集や持ち込みによって搬入されたごみの分別等を行う。				
事業概要	ごみの持ち込みの受付。ごみの搬入、分別、搬出。ごみの持ち込み場所、重機の維持管理。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	03	02	大事業	じん芥受入分別事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	28,154	23,997		25,234		25,234	
	概算人件費	550	1,545		1,075		1,075	
トータルコスト		28,704	25,542		26,309		26,309	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.25 人			1,075 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,075 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	-	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができています。 ・委託によりごみ分別等作業が適正に行われ、安定した処理が出来ている。
	課題	・今後、新たなごみの処理や分別作業を行うことがあれば、ごみの分別場所、ごみの保管スペースが不足している。 ・委託によりごみ分別作業を行っているが、新たなごみ処理があった場合は、分別方法などを検討する必要がある。 ・作業にあたり、油圧ショベル及びホイールローダを使用しているが、老朽化により修繕等の費用がかかることから更新を検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	・一部業務の委託により職員負担の軽減が図られ、かつ安定的な施設運営ができています。 ・令和7年度から開始したリチウムイオン電池等の分別についても、適正に実施され安定した処理が出来ている。
	課題	・今後、新たなごみの処理や分別作業を行うことがあれば、ごみの分別場所、ごみの保管スペースが不足している。 ・作業にあたり、油圧ショベル及びホイールローダを使用しているが、老朽化により修繕等の費用がかかることから更新を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

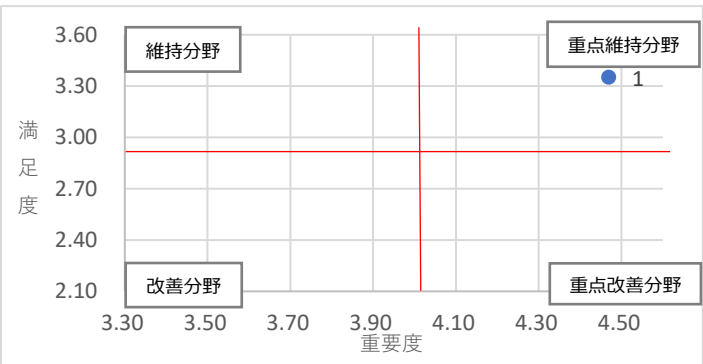
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	じん芥運搬処理事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民	目的	環境衛生センターに搬入された、破碎ごみ・金属類・家電・廃蛍光管・乾電池・使い捨てライターの適切な運搬処理を行う。				
事業概要	ごみの運搬及び処理。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	03	02	大事業	じん芥運搬処理事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	14,825	16,040		13,801		15,643	
	概算人件費	2,521	1,292		710		710	
トータルコスト		17,346	17,332		14,511		16,353	0
国庫/県支出金		0	444		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.17 人			710 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			710 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	資源化の目標（％以上）	計画値	33.5	36.5	37.7	39.0	39.0	39.0
		実績値		32.5	28.5	30.0		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・社会情勢から資源ごみの取り引きに変化があるものの、安定した運搬処理がされている。 ・台風被害により発生した、災害等廃棄物処理を行い、国の補助を受け実施した。
	課題	・安定した資源ごみの処理を継続するため、処理先の確保が必要である。 ・今後、新たなごみ出しルールや処理するものなどがあった場合、処理先などの確保が必要である。
今年度	成果（実績）	・社会情勢から資源ごみの取り引きに変化があるものの、安定した運搬処理がされている。
	課題	・安定した資源ごみの処理を継続するため、処理先の確保が必要である。 ・今後、新たなごみ出しルールや処理するものなどがあった場合、処理先などの確保が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	ごみ積替施設運営事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民	目的	可燃ごみを外部搬出する際、大型車に積み替える必要があるため、ごみ収集車から大型車（重量20 t）のコンテナへ積み替えるための中間処理施設。				
事業概要	ごみ積替施設の維持管理、可燃ごみの外部搬出を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	03	02	大事業	ごみ積替施設運営事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	50,195	51,286		43,793		49,281	
	概算人件費	2,055	1,476		970		970	
トータルコスト		52,250	52,762		44,763		50,251	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.21 人			970 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			970 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	-	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・施設管理や運営について、地域住民との大きな問題もなく事業が継続できている。 ・施設の維持管理を安定的に管理するため、作成した修繕計画をもとに、順次、設備の整備を実施している。 ・建物の外観（壁・スロープ・接続部分のサビなど）も月 1 回職員が巡回を実施している。
	課題	・可燃ごみを外部搬出し処分するために、必要な施設であり、安定した運営を図る。 ・修繕計画をもとに、設備の整備を進めているが、今後、想定外の整備が発生する場合があるため、毎年整備計画を見直す必要がある。 ・安定、安心管理を行うため、職員による施設の巡回や建物の点検などを継続する必要がある。
今年度	成果（実績）	・施設管理や運営について、地域住民との大きな問題もなく事業が継続できている。 ・施設の維持管理を安定的に管理するため、作成した修繕計画をもとに、順次、設備の整備を実施している。 ・建物の外観（壁・スロープ・接続部分のサビなど）も月 1 回職員が巡回を実施している。
	課題	・可燃ごみを外部搬出し処分するために、必要な施設であり、安定した運営を図る。 ・修繕計画をもとに、設備の整備を進めているが、今後、想定外の整備が発生する場合があるため、毎年整備計画を見直す必要がある。 ・安定、安心管理を行うため、職員による施設の巡回や建物の点検などを継続する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	最終処分場施設運営事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●				
事業対象	町民	目的	最終処分場の維持管理を図るため、委託及び職員による毎日の巡回を行い、安全管理を行う。				
事業概要	最終処分場及び浸出水処理施設の維持管理。浸出水の処理。浸出水、地下水等の水質測定。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	03	02	大事業	最終処分場施設運営事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	5,110	8,608		6,765		6,081	
	概算人件費	1,754	778		970		970	
トータルコスト		6,864	9,386		7,735		7,051	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.21 人			970 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			970 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・適切な管理により、浸出水の異常など他へ影響は見られない。地域住民との大きな問題もなく事業が継続できている。 ・施設の維持管理を安定的にするため、修繕計画を作成し、順次、設備の整備を継続して実施している。
	課題	・廃止が困難な施設を今後も現状のまま維持続けるか、検討を要する。また、浸出水の水質検査などの軽減も含めて、検討する必要がある。 ・維持管理の方向性により修繕計画を作成し、毎年整備計画を見直す必要がある。
今年度	成果（実績）	・適切な管理により、浸出水の異常など他へ影響は見られない。地域住民との大きな問題もなく事業が継続できている。 ・修繕計画に基づきろ過原水ポンプの更新工事を実施した。
	課題	・廃止が困難な施設を今後も現状のまま維持続けるか、検討を要する。また、浸出水の水質検査などの軽減も含めて、検討する必要がある。 ・維持管理の方向性により修繕計画を作成し、毎年整備計画を見直す必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」					※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」				
1次評価(所管課)		総合評価		良好		方向性		現状維持	
2次評価（庁内）		意見							
		総合評価		良好		方向性		現状維持	

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	し尿処理事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民	目的	下水道投入施設維持管理、生し尿の収集運搬や処理を行う。				
事業概要	し尿処理施設等運転委託。生し尿の収集、脱水汚泥（処理後の残渣）の搬出。下水道投入施設、設備の補修や維持管理。						

事業予算						
会計	01	款項目	04	03	03	大事業 し尿処理事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	49,655	39,417	46,194	56,998	
	概算人件費	2,356	1,207	1,351	1,351	
	トータルコスト	52,011	40,624	47,545	58,349	0
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R 7 概算人件費	正規職員	0.31 人		1,351 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,351 千円		

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	-	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	修繕計画の作成により施設の安定管理が出来ている。故障などの事前回避も出来ている。継続して、計画を更新しながら順次整備を進めていく。
	課題	令和元年度運転開始以来、10年を迎えようとしていることから、設備の修繕計画だけではなく、建物の耐震工事について計画する必要がある。
今年度	成果（実績）	修繕計画の作成により施設の安定管理が出来ている。故障などの事前回避も出来ている。上記計画に基づき、遠心脱水機、脱臭ファン、破砕ポンプの整備を実施した。
	課題	令和元年度運転開始以来、10年を迎えようとしているおり建物の耐震工事について計画する必要がある。中東情勢の悪化に伴い、一部の薬品について品薄による調達困難、コストの増加等が懸念される。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持